

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成25年12月19日(2013.12.19)

【公開番号】特開2012-165045(P2012-165045A)

【公開日】平成24年8月30日(2012.8.30)

【年通号数】公開・登録公報2012-034

【出願番号】特願2011-21635(P2011-21635)

【国際特許分類】

H 04 M 1/00 (2006.01)

【F I】

H 04 M 1/00 V

【手続補正書】

【提出日】平成25年10月30日(2013.10.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

任意のアプリケーションソフトを起動して所定の情報を表示可能な電話装置であって、  
通話中に表示していた表示情報または通話中に起動していたアプリケーションソフトに  
係わるアプリ情報を当該通話相手の電話番号と対応付けて記憶する表示情報・起動アプリ  
情報記憶手段と、

新たな発信または着信を受付けると、当該発信または着信の通話相手の電話番号を特定し、前記表示情報・起動アプリ情報記憶手段を参照して当該通話相手の電話番号に対応する表示情報またはアプリ情報を検索し、対応する表示情報またはアプリ情報が1以上存在する場合に、当該表示情報を表示するもしくは当該アプリ情報に対応するアプリケーションソフトを起動する、または自電話装置を操作する者が指定するいずれかの表示情報を表示するもしくは自電話装置を操作する者が指定するいずれかのアプリ情報に対応するアプリケーションソフトを起動する自動表示・アプリ自動起動手段と、を有することを特徴とする電話装置。

【請求項2】

請求項1に記載の電話装置であって、

当該通話中に表示していた表示情報を前記表示情報・起動アプリ情報記憶手段に記憶するか否かを問い合わせる情報を表示し、記憶を指示する操作がなされた場合に、

前記表示情報・起動アプリ情報記憶手段は、当該通話中に表示していた表示情報を当該通話相手の電話番号と対応付けて記憶することを特徴とする電話装置。

【請求項3】

請求項1または請求項2に記載の電話装置であって、

前記表示情報・起動アプリ情報記憶手段は、

通話中に起動していた表示情報を当該通話相手の電話番号と対応付けて記憶する場合に、前記表示情報をスクロールまたは拡大もしくは縮小して自電話装置が備える表示部に表示していた前記表示情報の表示部位に係る情報をさらに記憶し、

前記自動表示・アプリ自動起動手段は、

新たな発信または着信を受付けて当該発信または着信の電話番号に対応する過去の通話中に表示していた表示情報を表示する場合に、前記記憶した表示情報の表示部位を表示することを特徴とする電話装置。

**【請求項 4】**

請求項 1 または請求項 2 に記載の電話装置であって、

前記表示情報・起動アプリ情報記憶手段は、

通話中に起動していたアプリケーションソフトに係わるアプリ情報を当該通話相手の電話番号と対応付けて記憶する場合に、前記通話中に起動していたアプリケーションソフトに用いたファイル名およびアドレスに係るアプリの作業履歴をさらに記憶し、

前記自動表示・アプリ自動起動手段は、

新たな発信または着信を受付けて当該発信または着信の電話番号に対応する過去の通話中に起動していたアプリケーションソフトに係わるアプリ情報を起動する場合に、前記記憶したアプリケーションソフトのファイル名およびアドレスに係るアプリの作業履歴を読み出して元の作業状態に復帰することを特徴とする電話装置。

**【手続補正 2】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上述した課題は、任意のアプリケーションソフトを起動して所定の情報を表示可能な電話装置であって、通話中に表示していた表示情報または通話中に起動していたアプリケーションソフトに係わるアプリ情報を当該通話相手の電話番号と対応付けて記憶する表示情報・起動アプリ情報記憶手段と、新たな発信または着信を受付けると、当該発信または着信の通話相手の電話番号を特定し、表示情報・起動アプリ情報記憶手段を参照して当該通話相手の電話番号に対応する表示情報またはアプリ情報を検索し、対応する表示情報またはアプリ情報が1以上存在する場合に、当該表示情報を表示するもしくは当該アプリ情報に対応するアプリケーションソフトを起動する、または自電話装置を操作する者が指定するいずれかの表示情報を表示するもしくは自電話装置を操作する者が指定するいずれかのアプリ情報に対応するアプリケーションソフトを起動する自動表示・アプリ自動起動手段と、を有する電話装置により、達成できる。